

デジタル田園都市国家構想交付金【デジタル実装タイプ】 令和5年度事業 実績検証シート

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要	③ 事業の概要(経費内容)	④ 交付金の種類	⑤ 事業費	⑥ 交付金充当額	⑦ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑧ 本事業終了後における実績値		⑨ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑩ 外部有識者からの評価	事業担当課
							指標		目標値(R6.3)	実績値(R6.3)	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由		
1	入札関連手続電子化事業 (基本目標:Ⅰ「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり) (基本目標:Ⅱ「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	県内ほぼ全ての自治体において紙書類での運用が行われている”物品等の入札手続き等”を電子化し、県と市町村で共同運用することにより、自治体及び事業者双方の負担軽減と利便性向上を図る。 ①電子入札システム導入事業 ②入札参加資格電子申請システム導入事業 【事業期間:令和5年度】	①電子入札システム導入事業 【委託料】892,508円 ②入札参加資格電子申請システム 【委託料】5,870円	デジタル TYPE1	898,378円	449,189円	指標①	電子入札執行件数 (事業開始前:0件)	—	—	地方創生に効果があった	事業の継続	R5年度で整備したのち、システムの運用はR6年度から始めている状況。 R6年度は利用者への事前周知等を行い、システムの円滑な導入に努める。 (参考) R6.6.1から開始された新規申請において、豊後高田市のR6.11.1時点の登録件数は、1,349件(うちシステム利用件数は不明) 大分県全体の申請件数4,116件のうち、電子申請件数3,545件(86.1%)	地方創生に効果があった	財政課
							指標②	電子入札利用事業者数 (事業開始前:0者)	—	—					
							指標③	入札参加資格電子申請事業者数 (事業開始前:0件)	—	—					
							指標④	電子入札参加率 (事業開始前:0%)	—	—					
							指標⑤	入札参加資格電子申請率 (事業開始前:0%)	—	—					
2	衛星画像活用水道管漏水調査支援事業 (基本目標:Ⅰ「訪れたい」「住みたい」を全力で応援するまちづくり) (基本目標:Ⅱ「働きたい」を全力でかなえるまちづくり)	衛星画像のAI解析により水道管からの漏水疑いがあるエリアの判定するもので、これまで全水道管を対象に実施していた漏水調査を、漏水疑いエリア内の水道管のみに絞り込むことで大幅に効率化し、水道施設の適切な保全を図る。 ①衛星漏水判定事業 ②音聴漏水調査事業 ③漏水管修繕 【事業期間:令和5年度】	①衛星漏水判定事業 【負担金】901,000円 ②音聴漏水調査事業 【委託料】2,134,000円 ③漏水管修繕 【修繕費】1,675,650円	デジタル TYPE1	4,710,650円	2,355,325円	指標①	水道管漏水調査実施率 (事業開始前:30%)	30%	100%	地方創生に効果があった	事業の継続	定期的な漏水調査において広範囲に調査可能なシステムといえるため、今後の運用を図っていきたい。	地方創生に効果があった	上下水道課
							指標②	漏水発見件数 (事業開始前:100件)	100件	58件					
							指標③	有収率 (事業開始前:92%)	92%	85.8%					
							指標④	漏水1箇所あたりの調査費用 (事業開始前:50千円／件)	50千円	52千円					
							指標⑤	漏水率 (事業開始前:6.60%)	6.6%	11.2%					